

地域にはばたく市民パワー！



ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2021年10月号(第152号)

発行責任者 佐藤 重松

この秋みいつけた！ 収穫の助っ人たち



2021.9.22 糞谷八幡湿地のトロと稲と案山子

写真提供 仲山 富夫氏

第15期 総会開催のお知らせ

当倶楽部の第14期も残すところ2か月弱となってまいりました。

今期はスタートよりコロナ感染問題との困難な取り組みを強いられながらの組織運営となりましたが、講演会などこれからのイベントを一部残し、コンサート、文芸講座やアウトドア企画（サークルとの連携）等当初目標としてきた主な行事は予定通り実施できました。

これも偏に会員皆さまの温かいご支援とご協力の賜物と厚く御礼申し上げます。

さて、当会の第15期総会を来る11月29日（月）に万全のコロナ対策を講じて所沢ミューズ展示室にて開催いたします。

第2部では残念ながら、コロナ禍の規則により飲食の提供はできませんが、皆さんがリラックスして楽しめる企画（生演奏を一緒に）を予定しています。詳細は現在検討中です。

会員皆さまの奮ってのご参加をお待ちしております。

（総会案内）

日 時	11月29日（月）	第1部	総会	14:00～15:00
場 所	ミューズ展示室			（休憩 15分）
開 場	13:30	第2部	生演奏を一緒に	15:15～16:00

時局講演会 講師に聴く

食情報のウソ・ホント

～フードファディズムに要注意～

群馬大学名誉教授 高橋 久仁子



健康に関連する食の情報があふれています。「○には△が多いので▽にいい」とか、「◇には×が含まれるので食べるとガンになる」など、いろいろです。このような情報はわかりやすいので人気がありますが、ウソもホントも混ざっているので注意が必要です。

◆フードファディズムとは

もちろん、食と健康は密接に関わりますが、その関わりを誤って考えることをフードファディズム(Food Faddism)といいます。「食べものや栄養が、健康や病気へ与える影響を過大に評価・信奉すること」と定義され、およそ次のような三つの類型があります。

①健康への好影響を騙る食品の大流行：「それ」さえ食べれば(飲め)ば万病解決、あるいは短期間で減量可能と吹聴される食品が大流行することです。過去には「紅茶きのこ」(1975年頃)、「酢大豆」(88年頃)、「ココア」(96年頃)、「寒天」(05年夏)、「バナナ」(08年9月)、「トマトジュース」(12年2月)等がありました。

②量の無視：その食品に含まれる「有益・有害成分」の量には言及せず「○に良い」「×に悪い」と主張することです。「これを食べると△に良い」というマスメディア情報や「健康食品」産業界からの情報の多くが該当します。同時に食品中にごく微量存在する有害物質に関して、有害性を発揮するだけの量を摂取することはあり得ないにもかかわらず、健康への悪影響があるかのうに言い募る情報も該当します。

③食への期待や不安の扇動：その人の身体状況や食生活の全体像を考慮せずに、ある食品を体に悪いと敵視したり、別な食品を体に良いと万能薬視することです。「悪い」とする食品を徹底的に非難、攻撃します。非常に偏った食事法を推奨したり、「自然・天然」「植物性」は良い、「人工」「動物性」は悪いとの決めつけも見られます。

◆その問題点

「効果」がなくても害もなければまだいいのですが、無害なフードファディズムばかりではありません。場合によっては、体に悪影響を及ぼす事もあります。また、「治療」効果を騙る「健康食品」等を信じた利用者が、適切な医療を受ける機会を逃してしまう危険もあります。

食品は栄養素の含まれ方や消化性などに違いがあります。その特徴を知り、「今」の自分との関係を十分に考え、選び、量に配慮して食べることが大切です。食生活を含めた生活全体の見直しや改善をしないで「それ」さえ食べれば「健康になる」などという食品はありません。これからもたぶん開発されないことでしょう。日々まじめに食べることを軽視する食情報はフードファディズムではないかと疑ってみてください。

本講演会ではマスメディアからの食情報や食品の宣伝広告にひそむフードファディズムについて、具体例をもとにご一緒に考えたいと思います。

《講師プロフィール》

東北大学大学院農学研究科を修了(学位：農学博士)後、群馬大学教育学部助教授、教授を経て、2014年同大学名誉教授。

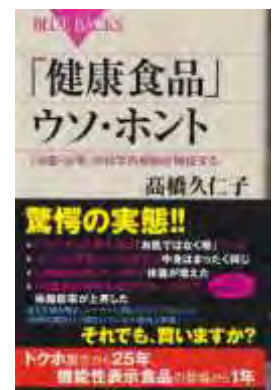
食生活教育、とくにフードファディズムについての研究を中心におこなっているが、妊娠と泌乳、味覚感受性、微量元素なども研究している。食生活に根強く残る「ジェンダー」問題を整理し、女性も男性も自分で食生活を管理できるようになる研究を推し進めている。

《主な著書》

『健康食品ウソ・ホント』
講談社ブルーバックス 2016

『フードファディズム：メディアに惑わされない食生活』
中央法規出版 2007

『食べものの神話の落とし穴―巷にはびこるフードファディズム』講談社ブルーバックス 2003 など



環境問題シリーズ 第12章

所沢市の「ゼロカーボンシティ宣言」を学ぶ <「出前講座」報告>

地球環境に学ぶサークル 大江 宏

コロナ禍で集会が不自由な7月3日、所沢市の「出前講座」を新所沢東公民館で開催しました。テーマは、「ゼロカーボンシティ宣言所沢~2050年CO2排出実質ゼロを目指して~」、講師は、環境クリーン部マチごとエコタウン推進課ゼロカーボン推進室主任の石川翔一氏(宮崎一主任、吉田美由紀室長も登壇)。「所沢の明日を考える市民フォーラム」、「所沢市民ソーラー」、「地球環境に学ぶ」の3団体の共催で、当日は人数制限いっぱいの30名の市民が参加しました。以下はその報告です。

*講義概要

講義内容は、

- (1)「ゼロカーボンシティ」とは
- (2)「ゼロカーボンシティ」宣言の背景
- (3)「ゼロカーボンシティ」実現のための施策について詳しい説明がありました。



(1)「ゼロカーボンシティ」とは、2050年までにCO2(二酸化炭素)排出量を実質ゼロにすることを旨を公表した自治体のこと。

所沢市は、2020年11月3日の市制施行70周年式典で藤本市長が「ゼロカーボンシティ」を宣言しました。2021年2月15日には、飯能市・狭山市・入間市・日高市と共に5市合同「ゼロカーボンシティ」宣言を表明。

(2)「ゼロカーボンシティ」宣言の背景(必要性)は、人間活動による地球温暖化が顕著になり、このままでは世界中で異常気象・自然災害の激甚化が予想されています。この気候危機の緩和のためには、今世紀中の世界の平均気温の上昇を産業革命以前に比較して2℃より十分低く、1.5℃に抑える必要があります。そのためには、「2050年までにCO2の排出量を実質ゼロ」にしなければならないのです。

2015年のパリ協定の合意などを踏まえて、多くの国や自治体、企業などの組織が2050年までの「ゼロエミッション」「ゼロカーボン」を表明しています。

(3)「ゼロカーボンシティ」実現のための施策のスタートは、2019年3月策定の「第三期所沢市環境計画」(2019-2028)における、2028年までのCO2削減の短期目標22.9%削減、2050年までの長期目標80%削減という計画の見直しです。これを2024年までに行うとしています。

そこには、CO2削減実質ゼロを実現するための再生可能エネルギー(RE)や省エネなどの「排出量の削減」と緑地の保全や拡大などの「吸収量の確保」の両方の具体的施策が必要です。

大切なことは、「ゼロカーボンシティ」の実現は、市民・事業者・市が一丸となって取り組まねばなりません。行政の事業だけでは、市全体の1%しか削減できないからです。

*質疑応答

講義後、熱心な質疑応答があり、15人から多岐にわたる質問や提案を頂きました。時間切れの質問には後日回答も頂き、参加者にフィードバックしました。

*今回の学びをどう活かすか

今回の学びは私たちのスタートです。これを機会に、参加者は言うまでもなく、さらに多くの市民と力を合わせて、豊かで暮らしやすい2050年の所沢の実現に向けて、行動していかなければと感じました。参加者の多くが、2050年に実質ゼロ化の実行計画に関心を持っていました。政府目標ですら2030年に2013年度比で46%削減です。2024年までに現行の実行計画を見直すとのことでしたが、それまでの3年間を無駄にできません。一例を挙げれば、市の最大の再エネポテンシャルは太陽光です。市民・事業者の太陽光への取り組みを後押しする施策に早急に取り組むべきと思います。

7/3の講義の映像と資料は、所沢市民ソーラーのホームページに掲載されています。

<https://tokorozawasiminnsora.jimdofree.co>

「世界の平和を考える」シリーズ第6回

音楽家から見える世界

笠松 泰洋

私は、一人のフリーの作曲家/音楽家であり、政治学者でも歴史家でもありません。私の感じることは全て主観に過ぎないし、きっと情報も偏っている面もあるかもしれません。世界の平和を正面から論ずる立場ではない、ということを最初に断っておきます。

ペルーのカルテットメンバー
& トレーナー、ケーナ奏者と



オペラ「人魚姫」出演者と
in ウィーン (筆者・左)

チリのサンチアゴにて出演者と



2年前の文化交流使の時には、初めて自分がプロジェクトの中心人物として多くの海外の方々と関わって、大きなことに気が付きました。それは、少なくとも音楽、そしてアートは、人種や習慣、宗教や教育といったものより、より根源的な人間という種族に根ざしたものであり、そこではそういった人間が学んで取得するものに関係なく、人々は心から共感出来る、ということです。

音楽で伝えたい気持ち、場面、価値観というものは、言語化されなくても存在するものです。寒い、暖かい、恐怖、安心、愛情、憎悪、痛み、快樂、美しさ、醜さ、そういったものが複雑に構成されて、アート作品は出来上がっています。

南米でもロンドンでも、曲が何を表すかを説明すると、演奏家の方々は、まさにそれだ！という音を出してくれるのでした。どんな場面でどんな感情を掻き立てるか、が最も重要なのですがその理解に関して、日本と南米、日本とイギリス、オーストリアで何の違いもなかったのです。

私が若い頃、いろいろな人生の選択肢がある中で音楽を選んだのは、音楽をやる際に自分は最も正直になれると思ったことがありました。どう取り繕ったところで師匠には見抜かれました。結局、人間としての姿がそのまま音楽には反映されると感じざるを得ませんでした。この世的にうまく立ち回って社会的に成功しようが、大きな経済力を得ようが、その人が作った曲、奏でた音が人に届くかどうかは全く関係がないのです。高い学歴も経歴も関係ないのです。アートにおいては人は平等だし最もニュートラルに結果が出る、と思ったのでした。

現在の世界の対立、平和と逆の方向に人間の集団が進む際には、人間の過剰な欲、そして、人間の組織を営む際の政治力学が大勢を決定しているように思えます。

宗教的な対立も結局は団体の対立です。団体の中では、より原理に忠実な方が力を持ちやすくなります。

そして集団を維持してその中での政治的な上下を維持するために、外に敵を持つという手段が取られ、その延長で戦争が生じるように思います。憎い個人を殺すと犯罪ですが、憎い敵国の人間をたくさん殺すと英雄になります。

宗教的な対立も、集団の利益、立場の拡張のために力を尽くすと、その教義に矛盾していても美化されます。

汝殺すなかれ、を教義とする宗教がどうしてこれほど多くの他民族の殺戮を繰り返してきたのでしょうか？

国家主義、民族主義、全体主義と同じことが宗教団体にも生じてしまうからだと思います。芸術も統率され、集団に利することを求められることもあります。しかしそんな中でも、芸術は人間性の根源を持っていれば、そういった体制が無くなっても生き延びます。

私が、ところざわ倶楽部での講義を14年続けているシェイクスピアもそうです。当時の宗教と政治の体制により排除されないぎりぎりの線のところで作品を生み続け、それは、今読んでもあらゆる人間に当てはまる真実がまざまざと感じられるのです。

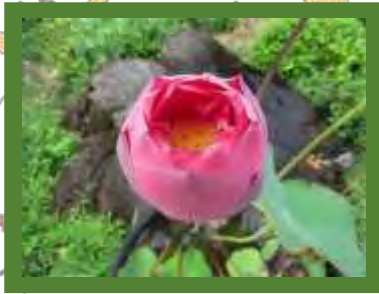
人類が今後生き残るためには、きっと新しい体制や考え方が必要なのではないでしょうか。何が生まれても、言葉が人を支配すると同じ結果になる気がします。アートは、少なくとも数万年前から人が人であることとともにあり、常に自然体でものごとを感じ、表現して、人間同士が精神的に交わり合う手段だったように思えます。

現状で言えることは、アートが幅を利かせることが出来る世の中の方が良い世の中だと、ということではないでしょうか。私はそう信じて、常に疑い深さと信じる力を持ち合わせたい、と思っています。

紙 上 作 品 展

この企画は、コロナによって開催出来なかった「ところざわ倶楽部まつり」の作品展示部門に代わるものとして、皆様の作品を画像にて紹介するものです。

写真 仲山 富夫

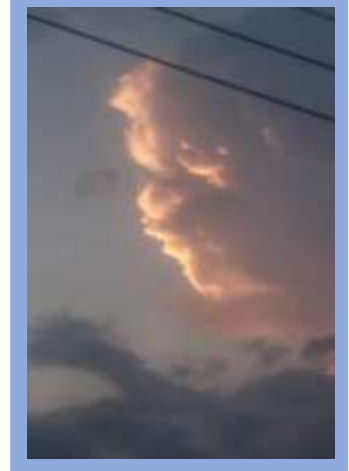


所沢市金仙寺「古代蓮」



ふるさと那珂川町「舞妃蓮」

写真 岡本 詔一郎



人面夕焼け

刺繍 小柳 幸規子



藤 娘 (75×90 cm)

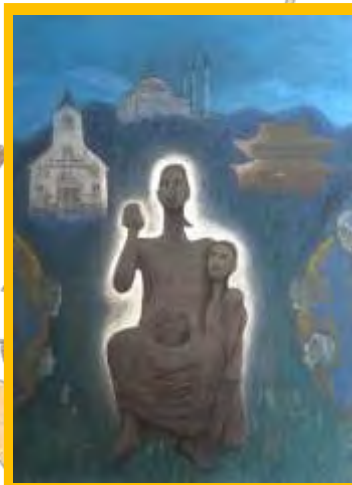


チェスト (95×75 cm)



チェスト刺繍部分拡大図

絵画 森野 辰夫



平和の祈り (100×73 cm)



響 (100×73 cm)

水墨画 中原 幹男



夏富士 (金粉使用)

サークル活動報告

再活動へ向けて 資料づくりに挑戦！

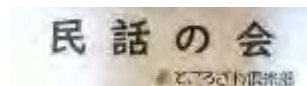
民話の会 仲山 富夫

「民話の会」の地域活動は、小学校三年生のテーマ「地域を知る」授業の中で、所沢の民話『弘法の三ッ井戸』『とんぼの宿り木』や『絵でみるむかしのところざわ』等を画面で紹介してきました。不定期には、児童館や各種老人ホームでも紹介（会場によっては「季節の花や童謡」を追加演目にした）。楽しんでもくれる皆さんを見る度に私たちはいつも元気をいただきました。

今年度、コロナ禍にあって一切の行事は中止となりましたが、その間の定例会での学習テーマは ①『絵で見るむかしのところざわ』、②『所沢発祥の地のはなし（航空発祥、保健所発祥、さつまいも試作、県内商業教育発祥の地）』の新たな資料の作成です。

会員の皆さんと話合い地域活動が再開できるのを待ちながら、民話の会ならではの資料の作成に挑戦してきました。何れはそれぞれの PowerPoint へ、会員の声を吹き込み完成します。そして、ところざわ倶楽部まつりや各会場でご紹介したいと考えています。乞うご期待！

それでは、出来上がりました『所沢発祥の地のはなし』の一部ですが写真を紹介します。



近所で子どもたちが遊ぶ声が聞こえますか？

所沢シニア世代地域デビュー支援の会

田口 元也



子どもたちは、長い夏休みも終わり新しい学期が始まりました。この夏は猛暑がつづき、また新型コロナウイルスが依然として猛威を振るっていたせいでしょうか、あまり子どもたちが外で遊ぶ姿を見かけませんでした。

そんな思いもあり、コロナ禍においての初めての勉強会として、少子高齢化が進むなかで、所沢市の「子育て事情・課題」についての学習に取り組みました。講師は所沢市こども未来部こども政策課に出前講座を依頼し、7月28日（水）生涯学習推進センターにて開催しました。もちろん本会の主旨は「シニア世代の地域デビュー支援」ですので、テーマは所沢市にお

ける「子育て支援政策」です。“子育て支援事業計画と今後のこども・支援施策の方向性”から、シニア世代が子育てにサポートできることは何かを探るものです。

所沢市は「子どもが大切にされるまち所沢」をスローガンにしていますが、子育てを取り巻く環境はけっこう厳しいものがあります。所沢市の年少人口（15歳未満）は、人口約34万人中12%の約4万人で、年々、親子世帯が減り夫婦のみ世帯や単独世帯が増加傾向にあるようです。また、子育て家庭においての経済的な負担も重く、食料や衣料を買えないといった家庭が1割弱もあるというアンケート調査結果もあり、ますます市民の子育て支援のニーズが高まっているということでした。

サークル活動計画

興味のある活動に参加してみませんか？

1. 葵の会 (水上 俊彦 080-6855-5868)

10月21日(木)中央公民館6号室13:00～13:30 受付・準備、13:30～15:30 及川先生講義万葉集⑧15:40～17:00 企画運営委員会・整理
11月11日(木)中央公民館8・9号室13:00～13:30 受付・準備、13:30～15:30 及川先生講義 万葉集⑨ 15:40～17:00 総会・整理

聴講者歓迎！

2. アジア研究会 (玉上 佳彦 090-2497-1076)

10月20日(水)13:30～16:00 中央公民館8・9号室 定例会
テーマ：渡邊晴雄氏によるシャングリラ旅行記
11月17日(水)予定 13:00～16:00 中央公民館8・9号室 定例会
テーマ：未定

3. 活いきシニア福祉の会 (川上 紀春 090-5573-2548)

10月27日(水)13:00～15:00 生涯学習推進センター 101号
定例会 「在宅介護について」 学ぶ
11月24日(水)13:00～15:00 生涯学習推進センター 定例会
テーマ：未定

4. 楽悠クラブ (田村 健一郎 2949-3434)

10月19日(火)13:15～16:30 中央公民館 3階8・9号学習室
ワーグナー歌劇「ニュルンベルグのマイスタージンガー」
後篇； 第二幕(2時間40分)、第三幕(45分)
11月2日(火)13:15～16:30 中央公民館 1階2号学習室
役員会(レビュー&計画)、会計レビュー(11月例会は無し)

5. 食を通して所沢を知る会 (木下 みえこ 090-7272-6752)

10月の定例会が変更になりました。
10月14日(木)10:30～ 三富今昔村 所沢駅東口、りそな銀行東口
支店前よりバス送迎(所沢駅発10:30→交流プラザ着11:00)
11月16日(火)10:00～12:00 ふらっと(会議室)
講演 講師：玉上佳彦氏 テーマ：未定

6. 地球環境に学ぶ (中島 峯生 2928-1161)

10月19日(火)9:00～11:00 新所沢東公民館 研修室1号
定例会①環境討論会：新政権のエネルギー政策②持寄り環境情報
11月16日(火)9:00～11:00 新所沢東公民館 研修室
定例会 ①環境討論会 ②持寄り環境情報

7. 所沢シニア世代地域デビュー支援の会 (田口 元也 090-9820-5668)

10月13日(水)13:15～15:00 中央公民館1階 学習室1号
定例会 議題「新年度企画案検討 ほか」
(スマイルパイレーツ チア練習日 見学大歓迎！)
10月23日(土)13:30～16:00 生涯学習推進センター 多目的室
10月30日(土)13:30～16:00 生涯学習推進センター 多目的室

8. 所沢の自然と農業 (稲村 洋二 2992-1751)

10月14日(木)13:00～15:00 新所沢公民館 定例会
10月19日(火)9:30～11:30 柳瀬荘黄林閣ボランティア
10月22日(金)9:30～11:30 柳瀬荘黄林閣ボランティア
10月末日 秋の健康ハイキング

9. 野老澤の歴史をたのしむ会 (大館 徹 2924-3010)

10月21日(木) 川越史跡巡り
11月4日(木) 飯能歴史散策「歴史地区と博物館見学」
コロナウイルス感染防止対策上中止、変更もあります。

10. ドラマティック・カンパニー (高橋 信行 090-9393-6238)

10月22日(金)10:00～12:00 中央公民館3号室
シェイクスピア戯曲「終わりよければすべてよし」朗読

11. 懐かしの映画・鑑賞会 (二上 拓夫 080-1250-6151)

10月12日(火)10:00～12:30 西新井町会館
洋画「老人と海」(58年) ヘミングウェイの1952年小説化
10月26日(火)10:00～12:30 西新井町会館
邦画「ビルマの堅琴」(56年) 安井昌二、三國隼太郎
⇒暮らしの歳時記「十三夜・ススキ飾り」?

12. 脳活サークル (加曾利 厚雄 2939-2308)

10月24日(日)「彩の森公園でバーベキュー」
詳細は後日、サークル会員へメールにてお知らせします。
11月22日(月)13:30～16:00
「秋の生け花体験」講師：安田 好子様 会場は未定
深まりゆく秋を生け花で表現してみましょう！！

13. 傍聴席 (石堂 智士 2947-0835)

10月18日(月) 新所沢東公民館 研修室1号 定員15名
「長期テーマ検討と今後の進め方」提案説明とテーマ選択の後グループ分け
11月15日(月) 市議会議員との意見交換会を予定

14. 民話の会 (仲山 富夫 090-3902-0283)

10月15日(金)10:00～13:00 新所沢公民館2階 定例会
第2回民話の由来地めぐりの詳細打ち合わせ
『塚ノ越地藏』読み合わせ
11月11日(木) 第2回民話の由来地めぐり(集合は柳瀬荘)
11日雨天中止の場合は18日(木)

理事会報告

9月13日(月)第9回理事会を松井公民館にて開催しました。
・時局講演会「食情報のウソ・ホント」10/28(木)開催決定。
新所沢公民館ホール13:30受付開始。事前申し込み制。公募も。
・民話由来地巡り第2回11/11(木)実施予定。
集合9:45 柳瀬荘黄林閣～東光寺金毘羅さん～塚ノ越地藏～滝の城址 事前申し込み制 先着20名 10/11申込み開始。

・サークル活動補助費2回目特別支給。活用してください。
・広場郵送費中途入会対応として、「11月1日～4月30日入会800円と5月1日～10月31日入会400円」の運用規定改正が理事会で承認されました。
・第15期総会予定 11月29日(月) ミューズ展示室 第2部での催し物を検討中です。

みんなの広場 第34回

映画の会 内川 賢治

懐かしの映画・鑑賞会

映画の会は、月2回上映会があり、昔懐かしい、若かりし頃に鑑賞した映画が改めて感動させてくれます。今年はコロナ感染拡大、非常事態宣言等により上映会が限られたものとなっています。各サークルも同様に開催が制限されていると思います。2月に予定されていた、オードリヘップバーン主演『シャレード』上映がコロナ感染拡大により中止になりました。再度6月に上映する事が出来ました。ヘップバーンの美しさもありますが、最後に金貨が隠されていた場所が、切手でした。スリルとサスペンス、最後のどんでん返し。映画って楽しいですね。

他に今年は『鉄道員/ぽっぽや』『プリティウーマン』『万引き家族』『翔んで埼玉』等、マスク、手指消毒、換気等、感染予防を徹底して鑑賞しています。

無声映画、暮らしの歳時記等、イベントも中止になりました。今後感染拡大が収束し、以前の生活に戻れますようお願いしています。

是非、映画の会に参加して見て下さい。

懐かしの映画・鑑賞会

開催日 : 毎月(原則) 第2、4火曜日
 場所 : 熊野神社境内 西新井会館
 上映時間 : 10時～12時
 代表 : 二上拓夫
 TEL : 080-1250-6151

むさし野俳句会(令和三年十月) 作品抄

蔵町に酒蔵一つ 鰯雲	荒幡千鶴子	市役所の洗面台に秋ざくら	高梨 千代
鰯雲いつかまたくる旅心	井出 昇	コロナの世一人静かに酌む新酒	利根川啓一
長ぐつのをとこバケツに栗ひろふ	海老澤愛之助	理不尽な足蹴にさるる毒茸	中嶋 弘子
古き良きアメリカ映画残暑中	小林 貞夫	すきまなく菊浮かべたる手水鉢	橋本 佑子
菊の酒術後三年祝はれて	小林 典子	枝豆や喧嘩のあとの塩加減	平栗 彰子
オオタニサーン英語の訛る瀬祭忌	佐藤 八郎	今朝の畑露踏み締めて鋤を打つ	宮本 信生
中庸といふめでたさよ敬老日	白神 恵子	秋の雨砂場に光る砂団子	鈴木 征子

「むさし野俳句会」も新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言以降なるべく短時間で句会を行うようにしております。しかしながら、高齢化には逆らえず最近メンバーが減少しています。第一火曜日の九時三十分から行いますので左記三名の者にご照会下さい。

連絡先 小林 2996-4941 井出 2944-9833 海老澤 2922-0259

《編集後記》

未だに猛威を振るっているコロナウイルスは“悪者”であるが、人間にとってありがたい存在のウイルスもいる。

胎児は、半分は父親の遺伝子を持っている。母親から見るとその半分のたんぱく質は、自分とは異質なものの。母親の免疫系からの攻撃で、胎児は生きていけないはず。ではなぜ生きていけるのか長い間謎だった。

2000年にヒト内在性レトロウイルスにあるシンシチンというタンパク質(細胞膜)が胎児を包み込み、母親の免疫攻撃を防いでいることが判明した。

ウィルスにしてみれば地球全体を動き回る人間は格好の宿主であり死滅されては困る、そこに自然界でのウイルスの存在意義がある。

さて、嘘はつく、質問には答えない、利権におぼれている人に、真つ当な心根を宿すウイルスを期待するのは私だけでしょうか。(原田 記)

川柳「六十六」 作品発表選 中島峯生

課題「小遣い」

小遣いは孫は増えても我増えず
 息子からそつと出されたポチ袋
 小遣いを貰った記憶遠くなり
 お小遣い子からもらうハプニング
 小遣いをもらった頃がなつかしい
 義父殿が隠れてくれたお小遣い

「自由題」

長風呂のひとり舞台をのぞかれる
 秋が来てコロナ禍だから家紅葉
 目黒から煙が消えて高級魚
 恨めしいリモートワークできるひと
 自粛癖五千歩歩き義務果たす
 親離れ子離れもせぬ頑固父

庵 閑 子
 ど う し
 詔 笛
 突 拍 子
 縄 文 人
 りんご好き
 丘の河童

次回(第67回) 課題「子供」そして「自由題」

締切り日: 10月20日、担当中島まで、どなたでも

宛先 mh-naka@jcom.home.ne.jp Fax 04-2928-1161

「広場」問合せ 玉上 佳彦 (090-2497-1076)